



能代市立能代第三中学校

学校報『二中の木』



令和5年2月24日(金)

第21号 文責：校長 工藤 真弘

TEL：52-5138

全国学力・学習状況調査や県学習状況調査問題は、高校入試問題と相關

保護者アンケートの回答で、全国学力・学習状況調査（通称：全国学テ）等の捉えについて触れ、詳しくは学校報でお伝えしておりました。改めて、説明いたします。

○「テストだ順位だ練習だ」ではなく「授業づくり」

そもそも全国調査は、各自治体の教育行政の状況、各学校の教育活動の状況を把握して、改善につなげるためのもので、「テスト」ではないのです。ところが、始まった平成19年からいきなり世の中の注目は、都道府県別の順位争いにすり替えられてしまいました。

全国調査の問題は、文部科学省として「子ども達にこんな力をつけてほしい、こんな授業をしてほしい」というメッセージが直球で込められています。ですから普段の授業で「自分の考えを表現する、学び合う」といった活動の中で力をつけないと解けない問題、学んだことを日常生活に生かす力が問われる問題が多いのです。秋田県教育委員会は、そのメッセージをしっかり受け止め、早い段階から取組を進めていました。

次の図は、平成24年度に秋田県教育委員会から出された資料の抜粋です。県内の小・中学校に配布され、県のホームページでも掲載、公表されていたものです。全国調査、県調査、高校入試を関連付け、授業そのもので力をつけるよう促しています。

◇◇全国調査（中学校）と県調査（中学校）、高校入試のつながり（数学の例）◇◇

【数学】：＜出題の趣旨＞筋道を立てて考え、事柄が一般的に成り立つ理由を説明することができる。

【H22全国調査 中B 2(2) 抜粋】

健太さんの予想

連続する3つの奇数の和は、3の倍数になる。

健太さんの予想は正しいといえます。予想が正しいことの説明を完成させなさい。

説明

n を自然数とすると、連続する3つの奇数は、 $2n-1$ 、 $2n+1$ 、 $2n+3$ と表される。したがって、それらの和は、

$$(2n-1)+(2n+1)+(2n+3)$$

=

孝さんの予想

連続する3つの偶数の和は、6の倍数になる。

孝さんの予想は正しいといえます。予想が正しいことの説明を完成させなさい。

説明

n を自然数とすると、連続する3つの偶数は、 $2n$ 、 $2n+2$ 、 $2n+4$ と表される。

目的に応じて、自分の考えを文字式で表現し、説明できるようになることは大切なんだ！

友達の考えを途中まで示し、残りの部分を学級全体で考えたり、教師があえて示した誤答例などを学級全体で議論したりするなどの学習活動が効果的だよ。

【H23高校入試 2(3) 抜粋】

【美咲さんのレポート】を完成させなさい。

【美咲さんのレポート】

1から9までの自然数から選んでもらう数をA、3けたの自然数をB、AとBの和からBの各位の数の和をひいた結果をSとする。3けたの自然数Bの百の位の数 a 、十の位の数 b 、一の位の数 c とすると、

秋田県検証改善委員会発行「平成23年度学校改善支援プラン」より抜粋

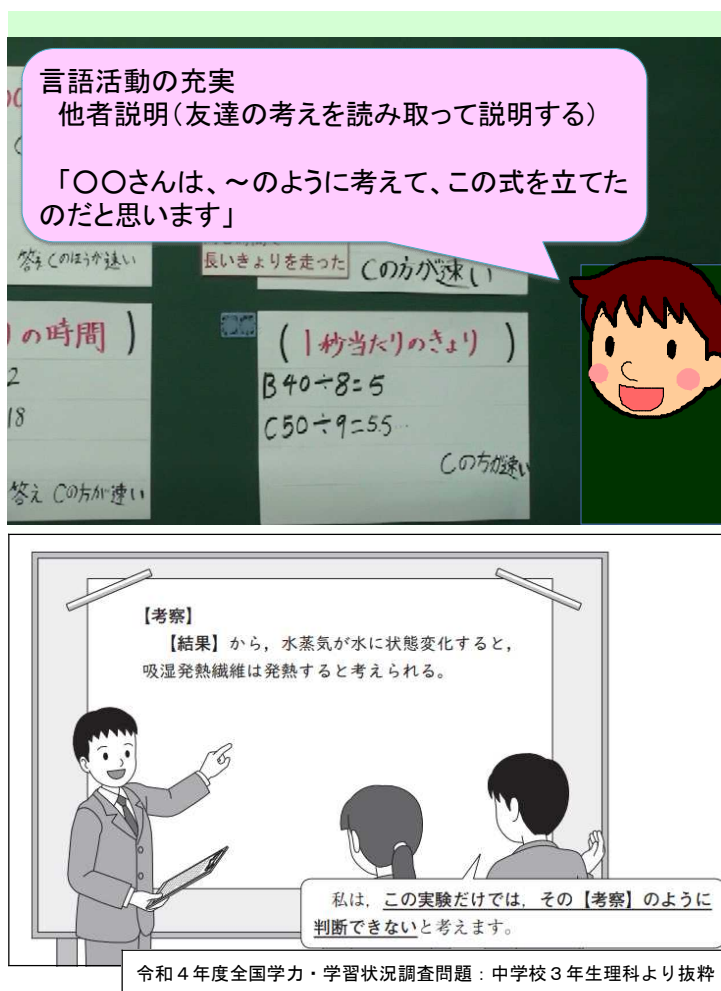
○「授業でつけるべき力は授業でつける！」～今や当たり前の授業「他者説明」～

これを受けて県内で広がったのが、右のような「他者説明」と呼ばれる活動を取り入れた授業です。これは、小学校の算数の授業ですが、中学校でも行っている当たり前の授業場面です。学び合う力をつけるためには非常に効果的な指導法です。本校では、これをタブレットを使って行っています。

この他の例として、過去の国語の全国調査問題には、学級の話合いの場面から筋道立てて話す力を問う問題がありました。理科では、右のように話合いの場面で友だちの考えの修正点を問う問題がありました。本校では、授業の流れの中に当たり前に取り入れられている手法です。

もちろん、秋田県の公立高校入試問題も平成23年度あたりから大きく変化してきています。

県のスタンスは「授業の中でつけるべき力は、授業でつける」ということ。本校もこのスタンスで学力向上に取り組んでいます。



言語活動の充実
他者説明(友達の考えを読み取って説明する)

「〇〇さんは、～のように考えて、この式を立てたのだと思います」

【考察】
【結果】から、水蒸気が水に状態変化すると、吸湿発熱繊維は発熱すると考えられる。

私は、この実験だけでは、その【考察】のように判断できないと考えます。

令和4年度全国学力・学習状況調査問題：中学校3年生理科より抜粋

○全国調査、県学習状況調査を正しく活用すること＝学力向上、高校入試対策

報道等を見る限り、全国調査対策と称して過去問を必要以上に練習している学校はあるのでしょうか。昔は県内でも、宿題として過去問を何年分も渡していた学校があったと聞いています。全国調査、県学習状況調査を授業づくりに生かせば、本当につけるべき力が効率的に向上します。逆に報道等の指摘の通り、全国調査のための対策として行っているなら、時間の無駄、学力向上にはつながりません。

全国調査、県学習状況調査を授業づくりに生かして学力向上を図ることが最優先。高校入試対策にもつながる。

本校でも、過去問を扱います。大きく2つの目的です。

- ・1つ目は、授業づくりです。授業の確かめ問題として、部分的に使うこともあれば、前学年までの学習の成果を振り返るために使うこともあります。類似問題を自分で作成して、授業で活用する先生もいます。
- ・2つ目は、形式に慣れることです。全国調査の問題用紙は、独自の記入等の留意点や指示が書かれてあったり、1ページあたりの情報量が通常の学校のテストやプリントと違っていたりします。問題を解くことに集中できるようにするため、形式に慣れることも必要です。例えば小学校だと、初めてのマークシート形式に慣れる必要があります。来年度の全国調査は英語も行われ、新規にタブレットを使った問題形式が入ってくるので、本校では2年生を対象に接続練習を行いました。将来的には高校入試や大学入試の形式も変化していくので、生徒にとって様々な形式に慣れておくことは重要です。